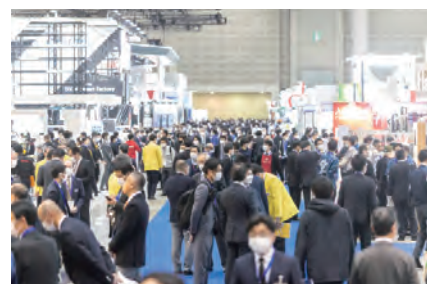


オフィシャルイベント

2022国際ロボット展

2022国際ロボット展
INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

会 期：2022年3月9日(水)～12日(土)
会 場：東京ビッグサイト東1-8ホール、西3・4ホール
共 催：(一社)日本ロボット工業会／(株)日刊工業新聞社
後 援：経済産業省／厚生労働省／農林水産省／国土交通省／総務省／
文部科学省／日本商工会議所／
新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)／
日本貿易振興機構 (JETRO)／日本放送協会 (NHK)〈順不同、法人格略〉
対 象：ビジネス、一般
公式サイト URL：https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/



会場風景

- ◆総来場者数(参加数)：62,388人
- ◆出展社数：615社・団体(国内出展社数：566社 海外出展社数：49社)
- ◆出展参加国と地域数：15の国と地域

■開催内容

◆東京ビッグサイトの東西ホールを活用した国内最大のロボットイベントへ成長

1974年から始まった国際ロボット展は、現在国内最大、世界最大級のロボット・トレードショーとして成長してきた。2022年は東京ビッグサイト東1-8ホールだけでなく、西3・4ホールも活用して、用途が拡大する産業用ロボットの最新システムや関連機器の展示のほか、コロナ禍でも活躍するサービスロボットなどを多数展示した。

今回は新たに「部品供給装置ゾーン」「マテハン・ロボットゾーン」を新設し、パーツフィーダなどの供給システムや物流業界で活躍する最新のロボットシステムを展示した。

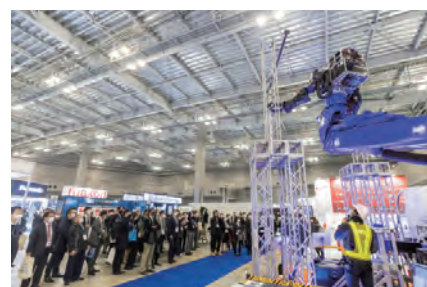


開会式

■2021年度の新規取り組みとその成果・特色など

◆初となるオンライン会場『iREX2022 ONLINE』を同時開催

新型コロナウイルスの影響によりリアル会場への来場が難しい方のため、初のオンライン展示会「iREX ONLINE」を2022年3月1日(火)～18日(金)に開催した。オンライン会場をみの出展者やオンライン会場限定の講演・ウェビナーもあり、ハイブリッド開催(リアル会場・オンライン会場を同時開催)によってより多くの情報を発信した。出展者ウェビナーでは、リアル会場の参加者数の制限とは異なるため、1,000名を超える参加者に達した企業もあり、距離や空間を超えて参加できるオンラインの特徴を活かすことが出来た。



出展者による実演

◆つくる☆さわれる国際ロボット展にて、ロボットコンテスト5団体を共同開催

土曜日企画として2017年からスタートした『つくる☆さわれる国際ロボット展』は、土曜日に増加する一般来場者や学生向けに、人材育成・体験コンテンツの提供を目的として実施している。今回は新型コロナウイルスの影響により開催が困難となっていた国内のロボットコンテスト(通称ロボコン)を5団体誘致し、出展企業・競技参加者との交流や、来場者への周知活動などを実施した。ロボットコンテストの競技参加者が将来的にロボット業界に進む例も多く、国際ロボット展の出展者との親和性も高い。今後はよりロボットのもつ面白さをPRしていくとともに、学生が多い競技参加者の就職活動にも役立つ場にしていきたい。



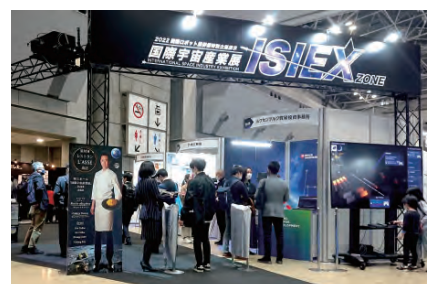
つくる☆さわれる国際ロボット展

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

◆ロボットの進出分野である『国際宇宙産業展』を同時開催

未知の領域である宇宙分野については、ロボットの活躍が期待されており、今回同時開催として宇宙産業に関わる特別展を実施した。宇宙分野は、ロボットのほか、衛星を使った地球上のサービスなども宇宙産業に関わるものであり、幅広い企業にとって参入の可能性が高い分野であり、30社を超える出展があった。

会場では月面探査ロボットや、様々な企業の取組を紹介しており、ロボットに関わらず、多くの企業が交流や商談を行った。



国際宇宙産業展